

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-122376

(P2003-122376A)

(43)公開日 平成15年4月25日 (2003.4.25)

| (51)Int.Cl. ⁷ | 識別記号 | F I | テ-マ-ト(参考) |
|--------------------------|-------|---------------|-------------------|
| G 1 0 K 15/02 | | G 1 0 K 15/02 | 5 K 0 2 5 |
| G 0 6 F 17/60 | 3 0 2 | G 0 6 F 17/60 | 3 0 2 E 5 K 1 0 1 |
| | 5 0 6 | | 5 0 6 |
| | Z E C | | Z E C |
| H 0 4 M 11/00 | 3 0 2 | H 0 4 M 11/00 | 3 0 2 |

審査請求 未請求 請求項の数10 書面 (全 9 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-349450(P2001-349450)

(22)出願日 平成13年10月12日 (2001.10.12)

(71)出願人 501256465

株式会社グリオ

東京都世田谷区新町2-2-5 サンヒル
新町2階

(72)発明者 中村 三郎

東京都世田谷区新町2-2-5 サンヒル
新町2階

F ターム(参考) 5K025 BB10 CC01

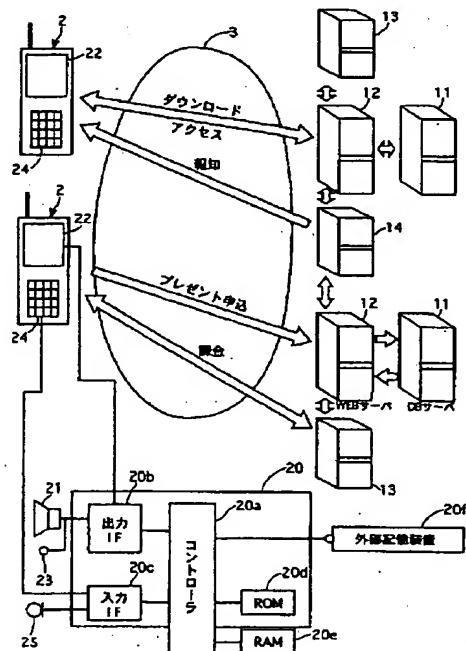
SK101 LL12 MM07 NN48

(54)【発明の名称】 データプレゼントシステム

(57)【要約】

【課題】 著作権保護のコピーガードが添付されていたり、携帯電話機の再生フォーマットが異なっていたりしても、音楽データや画像データを他の携帯電話機に向けてプレゼント可能とする新規なデータプレゼントシステムを提供すること。

【解決手段】 携帯電話機2からインターネット3を介して接続可能なデータベースサーバ11に、プレゼント用のデータが複数記憶され、ウェブサーバ12は、携帯電話機2からアクセスしたプレゼント送り手に任意のデータを選択させるデータ選択制御およびプレゼント相手の送信先を入力させるプレゼント相手設定制御を有した受任制御と、プレゼント相手の携帯電話機2に向けてプレゼントが来ていることを知らせる報知制御と、選択されたデータをプレゼント相手の携帯電話機2にダウンロードするダウンロード制御と、を実行するようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話機から通信ネットワークを介して接続可能な情報サーバに、プレゼント用のデータが複数記憶され、

前記情報サーバは、携帯電話機からアクセスした送信者に任意のデータを選択させるデータ選択制御、および、プレゼント相手の送信先を入力させるプレゼント相手設定制御を有した受任制御と、

前記プレゼント相手の携帯電話機に向けてプレゼントが来ていることを知らせる報知制御と、

前記プレゼント相手が携帯電話機によりアクセスした後、前記選択されたデータをプレゼント相手の携帯電話機にダウンロードするダウンロード制御と、を実行することを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項2】 請求項1に記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記受任制御は、情報サーバに含まれるプレゼント送り手の携帯電話機の通信会社仕様のウェブサーバにインターネットを介してアクセスさせ、かつ、この受任制御の相手設定制御では、プレゼント相手の送信先としてメールアドレスを入力させ、

前記報知制御では、情報サーバに含まれるメールサーバによりプレゼント相手にインターネットを介してメールにより報知し、かつ、プレゼント相手が本人の携帯電話機の通信会社仕様のウェブサーバにアクセスする手段を伝達し、

前記ダウンロード制御では、前記プレゼント相手の携帯電話機から前記通信会社仕様のウェブサーバにアクセスさせた後にダウンロードするようにしたことを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項3】 請求項2に記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記受任制御時に、プレゼント相手のメールアドレスからプレゼント相手の携帯電話機の通信会社を特定する通信会社特定制御を実行し、

前記ダウンロード制御においてプレゼント相手の携帯電話機から前記ウェブサーバにアクセスした際に、プレゼント相手の携帯電話機の端末情報からプレゼント相手の携帯電話機の再生フォーマットを特定する機種特定制御を実行し、この特定した再生フォーマットに適合したデータをダウンロードするようにしたことを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項4】 請求項1～3のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記データとして、少なくとも音楽データが含まれていることを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項5】 請求項4に記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記音楽データは、携帯電話機の着信メロディデータであることを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項6】 請求項1～5のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記データとして、少なくとも画像データが含まれていることを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項7】 請求項1～6のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記受任制御において、プレゼント相手に向けて送信するメッセージを入力するメッセージ入力制御を加え、前記ダウンロード制御時に、データと共にメッセージを送信するようにしたことを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項8】 請求項7に記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記機種特定制御では、データを送信不可能な機種と判断したときには、送信不可能であることを、プレゼント送り手側とプレゼント相手の少なくとも一方に知らせる送信不可能報知制御を実行するようにしたことを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項9】 請求項1～8のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、

プレゼントするデータに応じて、プレゼント送り手に課金を行う、課金制御を追加設定したことを特徴とするデータプレゼントシステム。

【請求項10】 請求項2～9のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、

前記メールサーバには、報知制御において、プレゼント相手のメールアドレス宛にプレゼントが来ていることを知らせるメッセージに加えて、前記ウェブサーバにアクセスするのに使用する暗証を報知する機能を持たせ、プレゼント相手が携帯電話機によりウェブサーバにアクセスする際に、この暗証を使用してアクセス可能としたことを特徴とするデータプレゼントシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯電話機の着信メロディなどの音楽データや画像データを他者にプレゼント可能とする新規なデータプレゼントシステムに関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】 従来、携帯電話機の着信メロディなどの音楽データを音楽サイトから携帯電話機のメモリにダウンロードする音楽データ提供システムが知られている。なお、このダウンロードした着信メロディなどの音楽データは、その携帯電話機において、着信時あるいは所定の再生指令操作により任意に再生することができる。また、この着信メロディと同時に、待ち受け画像データも一緒にダウンロードして、着信時や任意に画像を再生することも考えられている。

【0003】 ところで、従来のこのような音楽データ提

供システムにあっては、著作権を守るために、音楽データと共にコピーガードデータが添付されている。このコピーガードデータにより、ダウンロードした携帯電話機自身では音楽データを何回でも再生可能であるが、この携帯電話機から他の携帯電話機へ音楽データを、例えば通信ネットワークを介して送られるメールに添付するなどの方法により転送することができないシステムとなっていた。

【0004】また、携帯電話機にあっては、電話通信会社毎の仕様により、さらには、同じ電話通信会社であっても機種毎にフォーマットや機能が異なり、例えば、3和音・4和音・16和音など、音楽データ再生のフォーマットが異なる。このため、仮に、上記コピーガードが添付されておらず音楽データを添付データとして送信が可能であったとしても、送信先の携帯電話機とはフォーマットが異なる場合には、その音楽データを再生することができなかった。

【0005】それに対し、本願発明者は、携帯電話機使用者の需要を研究した結果、自分が気に入った着信メロディなどの音楽を他者にプレゼントしたいという需要があることを見いだした。例えば、クリスマスに、クリスマソングを送ったり、あるいは、友人や恋人の誕生日あるいは記念日に気に入りの曲をプレゼントしたりしたいという需要である。

【0006】しかしながら、上述した理由、すなわち、著作権保護のためのコピーガードや電話通信会社や機種の相違によるフォーマットの相違を理由として、音楽データを携帯電話機の間でプレゼントすることができなかった。

【0007】また、本願発明者は、音楽データと共に画像データを提供することを提案しており、さらには、画像データのみを提供することも提案している。ここで現在、画像データは、いわゆるメールに添付して送信することは可能である。しかしながら、この画像データに関するも、本来、著作権保護が図られるべきであり、この著作権保護のために、画像データに上述のコピーガードを添付した場合には、上述のように携帯電話機間で送信できないという問題が生じる。また、携帯電話機の機種によっては、画像データ再生のフォーマットが異なっており、機種間によっては、画像データを再生できないと言う問題もあった。

【0008】本発明は、上述の従来の問題点に着目して成されたもので、上述の著作権保護のコピーガードが添付されていたり、携帯電話機の再生フォーマットが異なっていたりしても、音楽データや画像データを他の携帯電話機に向けてプレゼント可能とする新規なデータプレゼントシステムを提供することを目的としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】上述の目的を達成するために、本発明では、携帯電話機から通信ネットワークを

介して接続可能な情報サーバに、プレゼント用のデータが複数記憶され、前記情報サーバは、携帯電話機からアクセスした送信者に任意のデータを選択させるデータ選択制御、および、プレゼント相手の送信先を入力させるプレゼント相手設定制御を有した受任制御と、前記プレゼント相手の携帯電話機に向けてプレゼントが来ていることを知らせる報知制御と、前記プレゼント相手が携帯電話機によりアクセスした後、前記選択されたデータをプレゼント相手の携帯電話機にダウンロードするダウンロード制御と、を実行することを特徴とするシステムとした。

【0010】なお、請求項2に記載の発明のように、請求項1に記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記受任制御は、情報サーバに含まれるプレゼント送り手の携帯電話機の通信会社仕様のウェブサーバにインターネットを介してアクセスさせ、かつ、この受任制御の相手設定制御では、プレゼント相手の送信先としてメールアドレスを入力させ、前記報知制御では、情報サーバに含まれるメールサーバによりプレゼント相手にインターネットを介してメールにより報知し、かつ、プレゼント相手が本人の携帯電話機の通信会社仕様のウェブサーバにアクセスする手段を伝達し、前記ダウンロード制御では、前記プレゼント相手の携帯電話機から前記通信会社仕様のウェブサーバにアクセスさせた後にダウンロードするようにしたことを特徴とするシステムとしてもよい。また、請求項3に記載の発明のように、請求項2に記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記受任制御時に、プレゼント相手のメールアドレスからプレゼント相手の携帯電話機の通信会社を特定する通信会社特定制御を実行し、前記ダウンロード制御においてプレゼント相手の携帯電話機から前記ウェブサーバにアクセスした際に、プレゼント相手の携帯電話機の端末情報からプレゼント相手の携帯電話機の再生フォーマットを特定する機種特定制御を実行し、この特定した再生フォーマットに適合したデータをダウンロードするようにしたことを特徴とするシステムとしてもよい。

【0011】また、請求項4に記載の発明のように、請求項1～3のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記データとして、少なくとも音楽データが含まれていることを特徴とするシステムとしてもよい。さらに、請求項5に記載の発明のように、請求項4に記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記音楽データは、携帯電話機の着信メロディデータとしてもよい。また、請求項6に記載の発明のように、請求項1～5のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記データとして、少なくとも画像データを含むようにしてよい。

【0012】また、請求項7に記載の発明のように、請求項1～6のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記受任制御において、プレゼント相手に

向けて送信するメッセージを入力するメッセージ入力制御を加え、前記ダウンロード制御時に、データと共にメッセージを送信するようにしてもよい。また、請求項8に記載の発明のように、請求項7に記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記機種特定制御では、データを送信不可能な機種と判断したときには、送信不可能であることを、プレゼント送り手側とプレゼント相手の少なくとも一方に知らせる送信不可能報知制御を実行するようにしてもよい。

【0013】また、請求項9に記載の発明のように、請求項1～8のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、プレゼントするデータに応じて、プレゼント送り手に課金を行う、課金制御を追加設定したことを特徴とするシステムとしてもよい。

【0014】また、請求項10に記載の発明のように、請求項2～9のいずれかに記載のデータプレゼントシステムにおいて、前記メールサーバには、報知制御において、プレゼント相手のメールアドレス宛にプレゼントが来ていることを知らせるメッセージに加えて、前記ウェブサーバにアクセスするのに使用する暗証を報知する機能を持たせ、プレゼント相手が携帯電話機によりウェブサーバにアクセスする際に、この暗証を使用してアクセス可能としたことを特徴とするシステムとしてもよい。

【0015】

【発明の作用および効果】本発明のデータプレゼントシステムにおいて、着信メロディなどの音楽データあるいは画像データなどのデータをプレゼントする場合、ユーザは、まず、携帯電話機により通信ネットワークを介して情報サーバにアクセスする。このアクセスを受けて、情報サーバは、まず、受任制御を実施する。この受任制御において、まず、データ選択制御を実施し、情報サーバに予め記憶されているプレゼント用の音楽データや画像データなどのデータ群の中から、任意のデータを選択させ、さらに、プレゼント相手設定制御を実施して、このプレゼント用データのプレゼント相手の携帯電話機のメールアドレスと電話番号との少なくとも一方を含む送信先を入力させる。なお、この受任制御において、データ選択制御とプレゼント相手設定制御とは、いずれを先に行ってもよい。

【0016】さらに、この受任制御は、請求項2に記載の発明のように、プレゼント送り手通信会社仕様のウェブサーバにインターネットを介してアクセスするようにするのが好ましい。このようにすれば、情報サーバ側におけるプレゼント送り手の管理が容易であり、プレゼント送り手側もプレゼント用のデータを検索するのが容易である。さらに、プレゼント相手の送信先として、請求項2に記載の発明のように、メールアドレスを入力するようにするのが好ましい。このメールアドレスに基づいて、請求項3に記載の発明のようなプレゼント相手の携帯電話機の通信会社を特定する通信会社特定制御を実

行することが可能となり、かつ、プレゼント相手に対する報知を容易に行うことができる。

【0017】次に、受任制御が終了すると、情報サーバは報知制御を実施し、プレゼント相手の携帯電話機に向けて、データのプレゼントがある旨を知らせる。この場合、請求項2および請求項3に記載の発明のように、メールサーバにより報知するのが好ましい。すなわち、このメールは、再生フォーマットの区別無く送信できるため、プレゼント相手の機種が特定できていなくても、報知することができる。また、この報知制御時には、請求項2および請求項3に記載の発明のように、プレゼント相手の通信会社仕様のウェブサーバにアクセスする手段を伝達するのが好ましい。このようにすれば、プレゼント相手がアクセスしてからダウンロードを実行するまでが容易となる。さらに、この報知制御の際に、誰からのプレゼントであるかを知らせるようにするのが好ましい。

【0018】プレゼント相手は、上記報知によりプレゼントがあることを知ると、サーバにアクセスし、その後、情報サーバは、ダウンロード制御を実行する。情報サーバは、このプレゼント相手からアクセスがあった時点で、請求項3に記載の発明のように、携帯電話機の端末情報（電話番号と1対1の管理番号など）からプレゼント相手の携帯電話機の再生フォーマットを特定する機種特定制御を実行することができる。そこで、プレゼント相手がアクセスを行った後には、情報サーバは、プレゼント相手の携帯電話機の再生フォーマットに適応したデータをダウンロードすることができる。

【0019】このように、プレゼント相手に対して、音楽データや画像データなどのデータを情報サーバからダウンロードするため、コピーガードが含まれたデータをダウンロードすることができるとともに、プレゼントした側の携帯電話機のフォーマットに関係なしにプレゼント相手の携帯電話機の再生フォーマットに適合した音楽データをプレゼントすることができる。

【0020】以上のように、本発明では、携帯電話機で再生する音楽や画像などのデータをプレゼントするにあたり、携帯電話機から携帯電話機に送るのではなく、プレゼントする側は情報サーバにこれを申し込んで、情報サーバからプレゼント相手へデータをダウンロードするようにしたため、通信会社や携帯電話機の機種に制限されことなく、また、著作権のシステムに制限されることなく音楽データや画像データなどのデータをプレゼントすることができる、新規なデータプレゼントシステムを提供することができる。また、音楽データと画像データとを同時にプレゼントできる新規なデータプレゼントシステムを提供でき、さらに、画像データをプレゼントするにあたって、コピーガードが添付されたデータの送信を可能として、著作権の保護を図ることができる新規な画像データプレゼントシステムを提供することができ

る。

【0021】さらに、請求項7に記載の発明にあっては、データのプレゼントの際に、同時にメッセージが送信されるため、プレゼントとしてより有効なものとなる。なお、このプレゼントとしては、クリスマス、新年などの他、誕生日、結婚式、就職、暑中見舞いなど種々な目的に適用することができる。

【0022】請求項8に記載の発明では、データを送信不可能な場合には、これを知らせるようにしたため、無駄にデータのダウンロードを行うことを回避することができる。

【0023】請求項9に記載の発明では、プレゼントするデータに応じて、プレゼント送り手に課金を行う課金制御を追加設定したため、新規なプレゼントビジネスを提供することができる。さらに、請求項10に記載の発明のように、暗証を入力することによりウェブサーバにアクセスすることを可能とすることにより、第三者によるアクセスを排除することができる。

【0024】

【発明の実施の形態】以下に、実施の形態のプレゼントシステムを図面に基づいて説明する。この実施の形態は、請求項1～10に記載の発明に対応するものであり、携帯電話機2において、着信時に発信するメロディのデータである音楽データ、ならびに電源が入れられているときに画面に表示したり着信時に表示したりする待ち受け画像の画像データをプレゼントするプレゼントシステムである。

【0025】実施の形態のプレゼントシステムは、図1に示すように、情報サーバとして通信会社の仕様別にデータベースサーバ11、ウェブサーバ12、課金認証サーバ13、およびメールサーバ14を有しているとともに、ユーザが有している携帯電話機2と、この携帯電話機2とウェブサーバ12、課金認証サーバ13およびメールサーバ14とを結ぶ通信ネットワークとしてのインターネット3とを有している。なお、ここではデータベースサーバ11、ウェブサーバ12、課金認証サーバ13を2組しか示していないが、この組数は、通信会社の数に対応するもので、3以上の複数あるものとする。

【0026】前記データベースサーバ11には、複数の着信メロディや楽曲などの音楽データや待ち受け画像としての画像データおよびユーザに関する情報が予め格納されている。また、これらのデータは、各通信会社の仕様に応じたデータとなっているとともに、ならびにこの通信会社に対応する携帯電話機2の再生フォーマットに応じて、必用に応じて複数種類が記憶されている。すなわち、1つの曲や画像でも、同じ会社でも携帯電話機2の再生フォーマットが異なっていれば、このフォーマットに応じた種類のデータが記憶されている。なお、本実施の形態にあっては、ユーザは、携帯電話機2の所有者において、さらに、特定のサービス（例えば、音楽や画

像の配信）を受けるために予め契約している人のことを指すものとする。

【0027】前記ウェブサーバ12は、インターネット3とともに通信会社毎に携帯電話機2とデータベースサーバ11との双方向の情報伝達の仲介を行う。このウェブサーバ12には、携帯電話機2からアクセスした際に、携帯電話機2の画面22にウェブ画面（図示省略）を表示させる機能を有している。前記課金認証サーバ13は、通信会社毎にウェブサーバ12と携帯電話機2とのそれそれに接続可能であり、両者の認証をもってユーザに対して課金を行う。

【0028】前記携帯電話機2は、コントロールユニット20から信号が出力されるスピーカ21、画面22およびこれら21、22への出力信号を外部に出力する外部出力端子23を備え、また、コントロールユニット20への入力手段として、キー入力部24およびマイク25を備えている。さらに、コントロールユニット20は、CPUなどを含み携帯電話機の全般的な動作を制御するコントローラ20aと、このコントローラ20aにより駆動される出力インターフェース20bと、入力をコントローラ20aにより処理可能に変換する入力インターフェース20cと、携帯電話機としての通信処理を実行したり、音楽を再生したり、画像を再生したりするソフトが記憶されたROM20dと、通信に関するデータや音楽データ・画像データなどを書き込み書き替え可能なRAM20eとを備えている。また、コントローラ20aに接続可能な外部記憶媒体20fを取り外し可能に設けることもできる。

【0029】次に、データプレゼントシステムのウェブサーバ12における処理の流れを示す図2および図3のフローチャートを参照しつつ説明する。まず、図2に示すのは、プレゼントの受け付けを行う受任制御とプレゼント相手にプレゼントがあることを知らせる報知制御とプレゼント相手の通信会社を特定する通信会社特定制御とユーザに課金する課金制御の流れを示している。

【0030】ユーザ（プレゼント送り手）は、着信メロディその他の楽曲、さらには画像を送る場合、まず、携帯電話機2を用いて、ユーザが使用している携帯電話機2が契約している通信会社のウェブサーバ12にアクセスして、プレゼント画面を選択する。すなわち、ステップ101においてアクセスがあった場合、ステップ102に進んでプレゼント画面の選択があったか否か判断し、プレゼント画面の選択があった場合には、ステップ103に進んで、プレゼント画面を表示する。なお、ステップ101においてNOの場合には、ステップ101を繰り返し、ステップ102においてNOの場合には、ステップ102のその他の処理、例えば、アクセス者本人へ音楽や画像のデータのダウンロードを行うなどの処理へ移行する。

【0031】ステップ103において表示された図外の

プレゼント画面には、予め記憶されている音楽データや画像データのリストが表示され、また、これらのデータの中から任意のデータを選択可能となっている。本実施の形態にあっては、このプレゼント用の画像としては、一例として挙げれば、クリスマス用であればサンタクロースやクリスマスツリー、誕生日用であればローソクに火がついたケーキなどの画像が考えられる。また、この画像を、例えば、サンタクロースがダンスしたり、ローソクの火が揺れたりするというような動画としてもよい。さらに、音楽データとして楽曲を送る場合に、その楽曲のCDジャケットやアーティストの画像などを送ることも考えられる。また、データベースサーバ11に記憶されているデータとしては、音楽データと画像データの両方ではなく、いずれか一方としてもよい。

【0032】次に、ステップ104において、任意のデータの選択が成されたか否か判断して、ユーザがこの選択を行った場合はステップ105に進んで記入画面の表示を実行し、データの選択が成されない場合にはステップ103のプレゼント画面の表示を続行する。あるいは、ステップ103に戻る前に、所定時間以上処理が成されない場合や、ユーザが中止を選択したというような中止判断を行って、中止判断時には、スタートに戻るようにしてよい。なお、ステップ103のプレゼント画面における選択は、音楽と画像のいずれか一方のみでも可能とする。

【0033】次に、ステップ105において表示される記入画面は、ユーザが必要事項を入力するように構成されているとともに、記入終了後、最終的に申し込みの同意を行うように構成されている。前記必要事項とは、ユーザの名前や、送り相手の名前、携帯電話機2の電話番号、およびメールアドレス、さらには、プレゼントを送る指定日や、メッセージなどである。なお、このメッセージの記入において、このメッセージを記入する欄を、グリーティングカードのような画像に添付させることもできる。

【0034】次のステップ106では、記入画面において必要事項の記入が終了して最後に申し込みの同意が成されたか否か判断し、申し込みが終了したらステップ107に進んで、プレゼント相手の携帯電話機2が契約している通信会社を特定する通信会社特定制御を実行する。すなわち、入力されたプレゼント相手のメールアドレスから通信会社を特定することができる。

【0035】次のステップ108では、課金制御を実行する。この課金制御は、課金認証サーバ13により実行され、予め契約しているユーザに対して、選択したデータに応じた課金を実行する。この課金としては、選択した音楽データおよび画像データの種類や数に応じて課金するようにしてよいし、あるいは、ダウンロード数を制限した、月額制などの定額制としてもよい。この場合には、課金としてダウンロード数をカウントする。

【0036】次に、ステップ109に進んで、報知制御を実行する。この報知制御は、本実施の形態にあっては、メールサーバ14から、プレゼント相手のメールアドレス宛に、ユーザ（プレゼント送り手）からプレゼントがある旨のメッセージと、このプレゼントを受け取る場合に接続するプレゼント相手の携帯電話機2の通信会社に対応したウェブサーバ12におけるURLおよび接続する際の認証に必要な暗証（パスワード）、およびこのプレゼントを受け取り可能な期間を送信する。なお、このプレゼント受取可能期間とは、後述の保管期間に対応するものとする。また、暗証は、自動的に振り付けるものとする。上述のように、プレゼント相手に対して携帯電話機2のメールアドレスに向けてメールサーバ14からメールにて報知を行うため、プレゼント相手の携帯電話機2の機種が特定されていなくても、確実に報知を行うことができる。

【0037】次に、上述のメールを受け取ったプレゼント相手は、このプレゼント相手が契約している通信会社のウェブサーバ12にアクセスする。すなわち、図3はダウンロード制御を示すフローチャートであって、まず、ステップ201では、プレゼント相手が契約した携帯電話機2の通信会社のウェブサーバ12において、図2にフローを示す受定制御にて設定されたプレゼントに関するデータ、すなわち、選択された音楽データや画像データ、また、申込者に関するデータ、プレゼント相手に関するデータ、さらに申し込みの日時などを読み込む。なお、これらのデータは、プレゼント申込を受け付けたウェブサーバ12から直接読み込むようにしてもよいし、あるいは、この申込を受け付けたウェブサーバ12からメールサーバ14を介して受け取るようにしてよい。

【0038】次に、ステップ202では、保管期間を計算する。すなわち、本実施の形態では、所定の保管期間中にプレゼントが実行されなかった場合には、このプレゼントをキャンセルするシステムを採用しているもので、この保管期間は、例えば1～2週間とするが、期間はこれに限られるものではないとともに、このようなキャンセルシステムを採用しなくてもよい。なお、この保証期間の演算も、申込受付側で計算して、上記のデータと共にプレゼント相手側のウェブサーバ12で受け取るようにしてよい。

【0039】次のステップ203では、保管期間中にプレゼント相手からアクセスがあったか否か判断し、アクセスがあった場合には、ステップ204に進んで、機種特定制御を実行する。また、保管期間中にアクセスが無かった場合には、ステップ207に進んでキャンセル制御を実行する。なお、このアクセスとは、プレゼント相手が携帯電話機2を用いて自分が契約している通信会社のウェブサーバ12にアクセスし、所定の暗証を入力するまでを含んでいる。また、プレゼント相手の携帯電話

機2のメールアドレスを自動認識可能とした場合には、暗証による認証を不要とすることもできる。

【0040】前記ステップ204における機種特定制御は、プレゼント相手の携帯電話機2からアクセスがあった場合に、これと同時に携帯電話機2に関する端末情報（電話番号と1対1で与えられている管理番号など）読み取って、その機種を判別するものである。

【0041】続くステップ205では、判別した機種から、データのダウンロードが可能な機種か否か判断し、可能な機種の場合は、ステップ206に進んでダウンロードを実行するが、ダウンロードが不可能な機種の場合には、ステップ207に進んでキャンセル制御を実行する。このように、ダウンロードは、プレゼント相手が契約している通信会社のウェブサーバ12からプレゼント相手の携帯電話機2に行われるため、再生フォーマットやコピーガードの制約を受けることなくダウンロードすることができる。なお、上記キャンセル制御は、プレゼントに関するデータをキャンセル情報として所定期間他の記憶部分に移した後に削除し、かつ、課金認証サーバ13により、ユーザ（プレゼント送り手）に対する課金を減算するものである。あるいは、課金そのものを、プレゼント相手からアクセスがあって、後述のダウンロードが成された後に実行するようにし、このキャンセル処理としては、プレゼントに関するデータを処理するだけにしてもよい。

【0042】ステップ203において、プレゼント相手からアクセスがあった場合には、ステップ205に進んで、ダウンロード処理を実行する。

【0043】以上のように、プレゼント相手からのアクセスであることを認証するようにしたことにより、プレゼント相手が契約したユーザでない第三者であってもアクセス可能とするとともに、それ以外の第三者のアクセスを排除することができる。また、ダウンロード処理にあっては、プレゼントとして選択された音楽データおよび画像データとメッセージをプレゼント相手の携帯電話機2にダウンロードするもので、この時、プレゼント相手の携帯電話機2の通信会社および機種が既に判別されているため、この機種に適合した再生フォーマットの音楽データおよび画像データを送ることができる。

【0044】また、本実施の形態にあっては、音楽データおよび画像データのいずれも、データには、著作権保護のために二次的な送信を不可能とするコピーガードが

添付されているものとするが、このダウンロードは、ウェブサーバ12からの初回の送信であるため、コピーガードが添付されていても送信可能である。なお、このとき、プレゼント相手が、万一、プレゼント送り手が入力したものとは異なる携帯電話機2からアクセスし、さらに、この携帯電話機2がデータの受取が不可能な機種である場合には、メッセージのみを送り、着信メロディと着信画像が送ることができない旨の定型の文章を自動送信するようにしてもよい。

【0045】以上、図面により実施の形態について説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。例えば、実施の形態にあっては、ウェブサーバからプレゼント相手への報知は、インターネットを介したメールにより行うようにした例を示したが、電話通信を介した音声信号により報知するようにしてもよい。また、これに続くダウンロードを、この報知からの連続的に行うようにすることも可能である。また、本明細書では、携帯電話機と称した電話機は、インターネットに接続可能な電話機を指すものであり、携帯式の電話機に限定されない。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態のデータプレゼントシステムを示す全体システム図である。

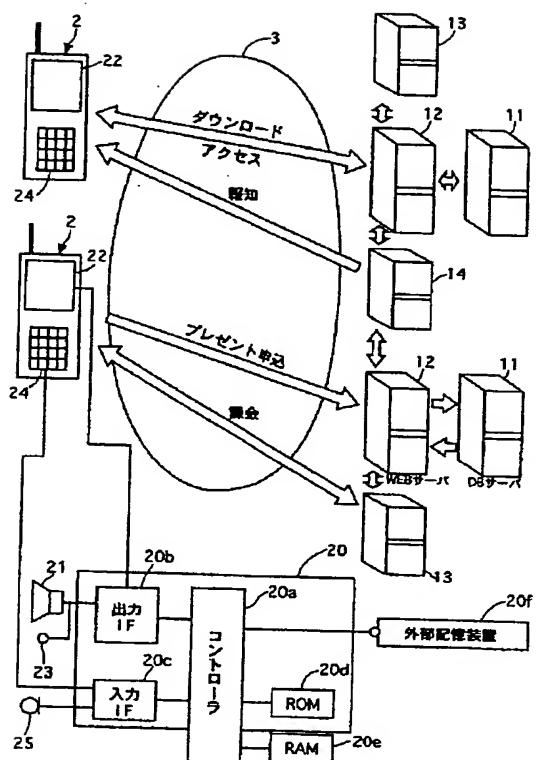
【図2】実施の形態のデータプレゼントシステムにおける制御流れを示すフローチャートである。

【図3】実施の形態のデータプレゼントシステムにおける制御流れを示すフローチャートである。

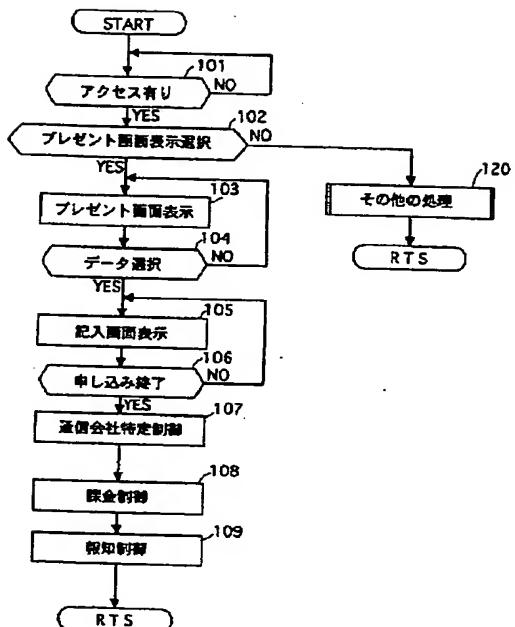
【符号の説明】

| | |
|-----|--------------|
| 2 | 携帯電話機 |
| 3 | インターネット |
| 30 | 11 データベースサーバ |
| | 12 ウェブサーバ |
| | 13 課金認証サーバ |
| 20 | コントロールユニット |
| 20a | コントローラ |
| 20b | 出力インターフェース |
| 20c | 入力インターフェース |
| 20f | 外部記憶媒体 |
| 21 | スピーカ |
| 22 | 画面 |
| 40 | 23 外部出力端子 |
| | 24 キー入力部 |
| | 25 マイク |

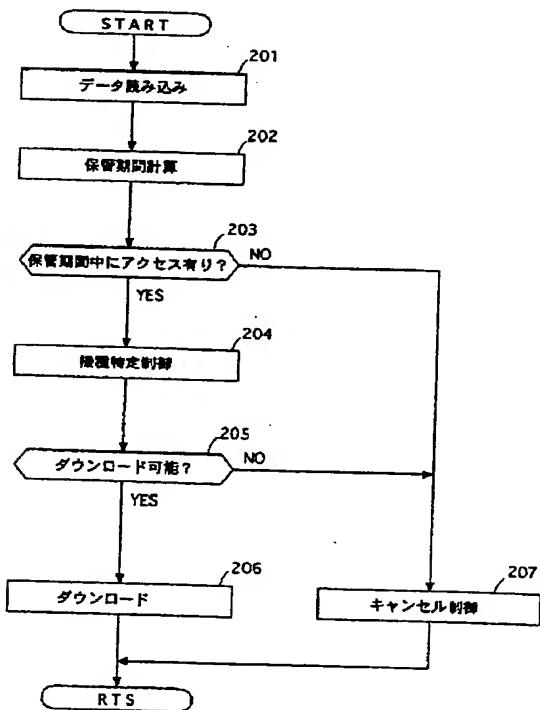
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.
H 04 M 15/00

識別記号

F 1
H 04 M 15/00

マーク (参考)
Z

THIS PAGE BLANK (USPTO)